

水資源機構技術士会を設立しました

水資源機構 60年の節目である令和4年5月1日に、「水資源機構技術士会」を設立しました。

当会は、技術士の相互交流による情報交換や自己研鑽の場とするほか、新たに技術士取得を目指す職員の支援等を行うことで技術力の向上とともに、組織の社会的評価や信頼性の向上を図るものです。

令和4年4月27日には、「水資源機構技術士会設立会」を開催しました。当会の設立時点の会員は75名です。今後、外部講師による技術士二次試験に向けた講習会の開催を行うほか、二次試験合格のための模擬口頭試験、経験談等を共有する機会を設ける予定です。

水資源機構は「水のプロ集団」として、これまで培ってきた高い技術力と先端技術を融合させ、近年顕在化し増大しつつある水に関するリスクに対応してまいります。水資源機構技術士会を通じ、職員の技術士取得促進のため様々な支援活動等を行うことで、機構の技術向上、社会的評価・信頼性の向上を図ってまいります。



最高顧問 金尾理事長による挨拶



設立会の様子

技術士ってなに??

みなさん「技術士」を知っていますか?? 技術士とは、国家資格であり、「科学技術に関する技術的専門知識と高等の応用能力及び豊富な実務経験を有し、公益を確保するため、高い技術者倫理を備えた優れた技術者」を示します。現在、技術者は全国で約9万7千人が登録されています(公益社団法人 日本技術士会ホームページより)。「技術士」は機械部門、建設部門、農業部門、環境部門など21分野に分かれています。資格を持っている人は、皆さんの周りの一般企業や学校、研究所など様々な所で、みなさんの身近な生活を支えています。

技術士資格取得までの流れ

